



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社
コード番号 9308 URL <https://www.inui.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一井 聡 TEL 03-5548-8613
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,699	1.1	1,003	△73.3	911	△76.9	611	△85.9
2025年3月期第3四半期	24,437	10.7	3,765	223.1	3,947	217.4	4,324	464.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,459百万円 (△71.1%) 2025年3月期第3四半期 5,043百万円 (441.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	24.29	—
2025年3月期第3四半期	172.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	76,371	36,558	47.9	1,451.82
2025年3月期	74,903	36,875	49.2	1,467.24

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,558百万円 2025年3月期 36,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.00	—	70.00	76.00
2026年3月期	—	3.00	—		
2026年3月期（予想）				7.13	10.13

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,889	3.5	1,325	△63.8	1,148	△70.1	850	△83.1	33.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	26,072,960株	2025年3月期	26,072,960株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	891,482株	2025年3月期	940,532株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	25,160,988株	2025年3月期3Q	25,118,132株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書.....	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、外航海運事業におけるハンディ船市況の上昇や為替の影響等により、売上高は前年同期比262百万円増収(+1.1%)の24,699百万円、営業利益は前年同期比2,761百万円減益(△73.3%)の1,003百万円、経常利益は前年同期比3,036百万円減益(△76.9%)の911百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3,712百万円減益(△85.9%)の611百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下のとおりであります。

①外航海運事業(ロジスティクス)

外航海運事業におけるハンディ船市況は、前年同期においては、パナマ運河の通航制限や中東情勢の緊迫化等を背景に高水準で推移いたしました。当年上期は、国際的な通商環境の不透明感や心理的要因の影響もあり、前年同期に比して軟調な市況が続いてきましたが、10月以降は季節的要因もあり回復基調で推移しました。

なお、当第3四半期連結累計期間における当社グループの平均為替レートは¥147.99/対US\$ (前年同期は¥152.30) となりました。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比483百万円増収(+2.6%)の18,863百万円、セグメント損益は前年同期比2,717百万円減益の31百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業(ロジスティクス)

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期を上回る水準で推移し、貨物取扱量は前年同期をやや上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、普通倉庫における取扱高の増加や連結子会社の引越業における取扱高が増加したことにより、売上高は前年同期比69百万円増収(+2.5%)の2,884百万円、セグメント利益は前年同期比45百万円増益(+21.2%)の259百万円となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィス市況は、都心・湾岸エリアを中心に空室の消化が進み、平均空室率は継続して低下傾向にあります。東京23区の賃貸マンション市況については引き続き堅調に推移しております。

当社グループが賃貸物件を所有する月島・勝どきエリアは都心からのアクセスに優れた好立地に位置しており、市況は好調に推移しております。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、中期経営計画に掲げるプラザ勝どき(1987年12月竣工)の再開発計画に伴い、2025年3月にプラザ勝どきを閉館したことにより、売上高は前年同期比290百万円減収(△9.0%)の2,952百万円、セグメント利益は前年同期比109百万円減益(△6.8%)の1,487百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産や投資有価証券の増加、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比1,468百万円増の76,371百万円となりました。負債は、借入金の増加等により前連結会計年度末比1,784百万円増の39,812百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末比316百万円減の36,558百万円となりました。

この結果、自己資本比率は49.2%から47.9%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1,108百万円減少し、17,544百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果として獲得した資金は、2,974百万円（前年同期比57.4%減）となりました。これは主として、減価償却費2,965百万円、法人税等の支払額769百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、4,306百万円（前年同期は1,883百万円の資金の獲得）となりました。これは主として、固定資産の取得による支出3,827百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、174百万円（前年同期は510百万円の資金の獲得）となりました。これは主として、長期借入れによる収入4,701百万円、長期借入金の返済による支出3,026百万円、配当金の支払額1,847百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期（2026年3月期）の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2025年11月11日に公表した前回発表予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、外航海運事業における為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	当四半期連結累計期間実績 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	第4四半期前提 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	147.99	157.00
燃料油価格 (米ドル/MT)	522.90	533.31

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,001	17,929
営業未収金及び契約資産	1,497	1,318
有価証券	—	500
繰延及び前払費用	723	752
貯蔵品	1,268	1,200
その他	2,019	2,191
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,511	23,892
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	23,316	30,342
建物及び構築物（純額）	8,358	8,170
土地	1,133	1,133
信託建物及び信託構築物（純額）	3,165	3,061
信託土地	204	204
建設仮勘定	6,590	649
その他（純額）	548	524
有形固定資産合計	43,317	44,085
無形固定資産	87	68
投資その他の資産		
投資有価証券	5,192	6,496
長期貸付金	1,119	1,186
その他	683	650
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	6,987	8,324
固定資産合計	50,392	52,478
資産合計	74,903	76,371

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,440	2,177
短期借入金	2,710	2,710
1年内返済予定の長期借入金	5,713	3,872
未払法人税等	419	—
契約負債	282	486
賞与引当金	97	28
その他	666	495
流動負債合計	12,328	9,770
固定負債		
長期借入金	21,724	25,639
繰延税金負債	728	1,085
退職給付に係る負債	76	78
受入保証金	1,342	1,386
特別修繕引当金	603	585
その他	1,222	1,267
固定負債合計	25,699	30,042
負債合計	38,028	39,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,674	11,685
利益剰余金	21,351	20,127
自己株式	△919	△871
株主資本合計	34,873	33,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,943	2,885
繰延ヘッジ損益	58	△35
その他の包括利益累計額合計	2,001	2,849
純資産合計	36,875	36,558
負債純資産合計	74,903	76,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	24,437	24,699
売上原価	19,520	22,541
売上総利益	4,916	2,158
販売費及び一般管理費	1,150	1,154
営業利益	3,765	1,003
営業外収益		
受取利息	161	141
受取配当金	123	167
為替差益	242	144
その他	27	54
営業外収益合計	555	507
営業外費用		
支払利息	296	529
その他	76	70
営業外費用合計	373	600
経常利益	3,947	911
特別利益		
固定資産売却益	4,289	0
特別利益合計	4,289	0
特別損失		
固定資産除却損	7	0
減損損失	2,486	—
投資有価証券評価損	43	29
特別損失合計	2,537	29
税金等調整前四半期純利益	5,699	881
法人税、住民税及び事業税	1,408	263
法人税等調整額	△33	6
法人税等合計	1,375	270
四半期純利益	4,324	611
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,324	611

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	4,324	611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	530	941
繰延ヘッジ損益	189	△93
その他の包括利益合計	719	847
四半期包括利益	5,043	1,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,043	1,459
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,699	881
減価償却費	2,342	2,965
減損損失	2,486	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71	△68
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	△154	△18
受取利息及び受取配当金	△285	△308
支払利息	296	529
為替差損益 (△は益)	△221	△52
固定資産売却損益 (△は益)	△4,289	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	545	229
契約資産の増減額 (△は増加)	△367	△50
繰延及び前払費用の増減額 (△は増加)	315	45
貯蔵品の増減額 (△は増加)	220	67
仕入債務の増減額 (△は減少)	1	△257
契約負債の増減額 (△は減少)	△186	203
未払費用の増減額 (△は減少)	39	15
未払又は未収消費税等の増減額	△30	54
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	24	43
その他	170	△257
小計	6,540	4,024
利息及び配当金の受取額	252	294
利息の支払額	△290	△574
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	470	△769
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,974	2,974
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,500	△3,827
固定資産の売却による収入	4,422	0
有価証券の取得による支出	—	△1,000
有価証券の償還による収入	—	500
投資有価証券の取得による支出	△50	—
その他	11	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,883	△4,306
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	8,466	4,701
長期借入金の返済による支出	△7,517	△3,026
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△434	△1,847
その他	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	510	△174
現金及び現金同等物に係る換算差額	556	398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,925	△1,108
現金及び現金同等物の期首残高	13,980	18,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,905	17,544

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	18,379	2,814	3,243	24,437	—	24,437
セグメント間の売上高又は振替高	—	0	23	23	△23	—
計	18,379	2,815	3,266	24,460	△23	24,437
セグメント利益	2,685	214	1,597	4,496	△731	3,765

(注) 1. セグメント利益の調整額△731百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△731百万円でありま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、プラザ勝どきの再開発計画に伴う営業終了を受け、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しております。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,486百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	18,863	2,884	2,952	24,699	—	24,699
セグメント間の売上高又 は振替高	—	4	23	27	△27	—
計	18,863	2,889	2,975	24,727	△27	24,699
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	△31	259	1,487	1,715	△711	1,003

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△711百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△711百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。